秋の研修会アンケート

● 「寄り添った支援」という言葉の意味が少しわかった気がします。相手に合った教材、やりたい内容について、これからは細かく検討してみたいです。

● 明朗な先生で、話もわかりやすかったです。コースデザインの考え方が、今までやってきたことと逆だった。まず目標を設定することに戸惑いが有ったが、文法積みあげよりも、週１のボランティア教室には合っていると感じました。発表が良かったです。講義ばかりより良かったと思います。

● 「日本語教室とは、お互いに学びあい、外国人参加者が安心して間違えられる場所」というお話が心に残りました。何か持ち帰ってもらわなくては、というプレッシャーも感じていましたが、そうでなくても良いとわかりました。ボランティア２年目なので、ほっとしました。マイクロアグレッションについても、無意識にしていそうなので、気を付けたいと思いました。「やさしい日本語」を笑顔で広めていきたいです。後半の具体的なコース設定も、とても勉強になりました。私の所属する教室では、１０回のコースに分けて考えることはありませんが（もしかしたらどなたか先輩はなさっているかもしれませんが）とても学びになりました。同じチームの方と話し合ったり、他のチームの方の発表を聞くことが出来たりして、参加してよかったです。私は実践編がある方が良いので、15：30までが良いです。またこのような機会が有れば参加したいです。ありがとうございました。

● 日本語の学び方、指導の方法、目的の多様性があることよく理解できた。特に日本語教室と日本語学校の違いがあることに気づきました。やさしい日本語の使い手、になる必要を十分にかんじました。有意義な研修有難うございました。グループ発表会では想定される学習者の国や日本語レベルが紹介されて、その学習者の計画がいろいろな視点から具体的に組まれ良くまとめられた発表会でした。